

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	西宮市立浜甲子園中学校 職・氏名 教諭 木田 重果	研究チーム名 (教師コーチング研究会)
-------------	------------------------------	--------------------------

研究テーマ分類番号 (1 7)

(1) 研究テーマ	
コーチングを用いた教師の力量形成に関する研究	
(2) 研究経過及び具体的な取組	
5月27日	事例報告会 実施場所： 打出教育文化センター 人 数： 4人 主な内容： 学習規律について 学級通信の交流 授業研究にむけての取り組み
7月 1日	事例報告会 実施場所： 打出教育文化センター 人 数： 4人 主な内容： 教師の同僚性について 1学期の振り返り
8月22日	事例報告会 実施場所： 打出教育文化センター 人 数： 5人 主な内容： 子ども理解について 2学期にむけて取り組みたいこと
10月 2日	調査・研究発表 実施場所： 北海道教育大学 人 数： 1人 主な内容： 日本臨床教育学会における研究発表と最新の研究調査
10月11日	事例報告会 実施場所： 打出教育文化センター 人 数： 3人 主な内容： 授業案の検討 授業の見方について
11月22日	事例報告会 実施場所： 打出教育文化センター 人 数： 4人 主な内容： 進路指導について クラスの児童について (男女間、女子のグループ化)
成果と課題	
<p>コーチングを基底とした事例報告会については充実した内容となり、互恵的な学びの場となっていると考える。前年までの取り組みをまとめ、日本臨床教育学会で発表できたことは成果のひとつと考えられる。しかしテーマである力量形成といった部分ではまだまだ途上である。力量形成という言葉の概念規定があいまいであったり、研究方法として考えているナラティブ探究が試行錯誤の状態である。今後は教師の語り (ナラティブ) をベースとしたデータをより客観的な手順を経て、力量形成のキー概念を探っていきたいと考える。</p>	